

牛深ハイヤ踊りの 楽しさを伝えたい

牛深ハイヤ桃の会（牛深町）
☎73-3690

「ヨイサー、ヨイサー、サツサ
ヨイヨイ」
太鼓と三味線の軽快な音楽とハ
イヤ節に合わせて踊るのは、牛深
町を拠点に活動する「牛深ハイヤ
桃の会」。

平成12年に婦人会のハイヤ部と
して踊り手13人で活動をスタ
ト。自分たちだけの振り付けで踊
りたいと思い、昔よく見られた光
景の漁師の妻が魚を売るようすを
舞台踊りに取り入れた。
「踊りがうまくなるにつれて、
大きなイベントなどに出演したい
と思うようになった」と話す代表



の浅見久美子さん。婦人会から独
立して「牛深ハイヤ桃の会」を設
立したのは、活動を始めて6年目
のことだった。
現在は、踊り手16人と地方7人
で病院や介護施設に出向き、ハイ
ヤ踊りや歌の披露をしている。「み
なさん笑顔で出迎えて喜んでくれ

る」と笑顔で話す浅見さ
ん。ハイヤ踊りを見て元
気になってもらえること
にやりがいを感じてい
る。
活動の場は、天草だけ
に留まらず、人吉市の青
井阿蘇神社で奉納踊りや
熊本市内の祭りなど県内
を中心に出演している。
この活動で、行った先の
人たちが4月の牛深ハイ
ヤ祭りに足を運んでくれ
ることが何より嬉しい。
今年は、熊本市内から訪
れて牛深ハイヤ祭りを楽
しんでくれた。
他の団体に比べて会の
歴史が浅い桃の会だが、
会員のほとんどが60歳以
上。「牛深以外の人も



▲地方のみなさん



▲去年の高森風鎮祭でも披露



▲女籠とイナダシを使った踊り

天草のキリシタン遺産

世界文化遺産登録1周年
アルメイダ河内浦伝道450周年記念特別展

天草一族とアルメイダ

〜天草キリシタンの起点河内浦〜

■とき 8月1日(土)〜11月10日(日)
■ところ 崎津資料館みなと屋2階
午前9時〜午後5時(入館は午後4時30分まで)

崎津集落におけるキリスト教
信仰のはじまりは、1569年
に河浦地方一帯(当時は河内浦)
を治めていた戦国領主天草鎮
尚とイエズス会のアルメイダ宣
教師の出会いにあります。二人
による話し合いの中で「南蛮貿易」
の港となったのが崎津でし

た。この出会いは宣教師の報告
に詳しく記録されており、河浦
や崎津が450年前のヨーロッパ
に知られていたことが分かっ
ています。
「布教の歴史をもっと詳しく
知りたい」という要望を受け、
8月から崎津資料館みなと屋で
「天草一族とアルメイダ 天
草キリシタンの起点河内浦」
という特別展を開催します。



鎌倉時代から始まる天草一族
の地域支配と国際性、天草鎮尚
とアルメイダの出会いなど、天
草戦国史を貴重な資料から紐解
きます。

◆白蝶貝のメダイ (崎津教会蔵)



17世紀初頭頃に崎津
で製作された可能性がある
白蝶貝製のメダイ。通常
はレプリカですが、特別
展では本物を展示。
イエズス会を創始した
イグナティウス=デ=ロヨ
ラがモチーフで、精巧な
つくりが特徴です。

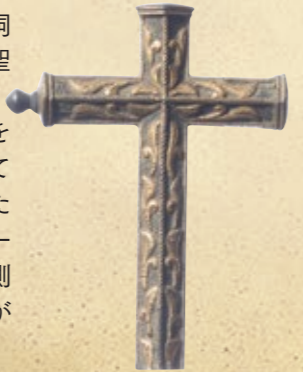
◆展示品の一部を紹介◆



◆河内浦城跡出土の皿 (天草コレジヨ館蔵)

天草氏の居城であった河内
浦城跡から出土した14〜15
世紀頃の皿。ベトナムで焼成
されたもので、国内遺跡から
出土することが少ない珍しい
もの。

◆とぎん せいはつ 鍍金十字型聖遺物入れ (崎津教会蔵)



左側のつまみが蓋で、内部が空洞
になっている十字架の形状をした聖
遺物入れ(レリカリオ)。
キリスト教では聖人の体の一部を
肌身離さず持つことが大切にされて
おり、聖人の毛髪などを納めていた
ものと思われます。全体は銅で、一
部に金メッキが施されています。側
面には、釘抜きやロンギヌスの槍が
レリーフされています。

【問い合わせ先】文化課(天草宝島国際交流会館ポルト内) ☎67784